

令和2年第8回（臨時）高砂市教育委員会 会議録

日時

令和2年4月9日午後2時30分

場所

高砂市役所西庁舎4階会議室

出席者

衣笠教育長、山名委員、吉田委員、神尾委員、布施委員

出席事務局職員

永安教育部長、阿部教育推進室長、赤松学校教育室長、北野教育推進室教育総務課長
中野教育推進室生涯学習課長、矢野学校教育室学校教育課長

本日の会議に付した事件

その他

- 1 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

議 事 その他 1 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

- 事務局 (その他 1 について説明)
- 教育長 何かご質問はございますか。
- 委員 週 1 回だけの登校日にしてはいますが、それ以外でも担任と生徒との関係を密にする、信頼感を持たせるために、この日以外にも登校する日を作るという話があったと思うのですが、それは各学校主体でやるのか、教育委員会として指導をするのか、その辺りの方針を何か持っておられますか。
- 事務局 緊急事態宣言を受けて、登校日は週 1 回程度という県の方針も出ておりますので、教育委員会も週 1 回の登校日で考えております。校長会より週 1 回で行うのであれば日を統一したほうが良いということで、曜日を統一、小学校も中学校も毎週金曜日としております。週 2 回に増やすということは考えておりません。
- 委員 保護者の就労のため家庭で小学生だけになってしまう場合は、8 時 30 分から 15 時までの間、学校で預かるということですが、極端な例を言うと、月曜から金曜日まで保護者が働いていて見られないときは、ずっと学校へ行くということですね。登校の基準はどのように定めたのですか。
- 事務局 保護者の就労のため、ご家庭で小学生のお子様だけになってしまう場合は、学校にご相談くださいということで、8 時半から 15 時まで学校に来ていただいたらその間は面倒を見ますというような預かり方です。金曜日の登校日とは性質の違うものです。学童保育を利用していないお子様で送迎ができる家庭ということもあり、午後も利用する場合は、お弁当の用意をしていただき、あくまでも預かりという形をとります。
- 委員 利用に関して、どのくらいの児童が来ることを想定していますか。
- 事務局 3 月は 8 時 30 分から 12 時までという時間帯で預かっていました。その実績は延べ人数で 63 人ぐらいでした。預かり実績のある校数が 4 校で、それを上回ることは予想しています。昨日の段階では、2 校で 6 件の相談があったと聞いています。時間帯が 3 時まで延びたということで、利用は 3 月よりは増えるのではないかと予想をしています。
- 委員 この間、子供たちが何をしているのか。内容はどうなっていますか。
- 事務局 学校から出された課題をしたり、自主的に問題等を持ってきてやったり、読書をしたりというような過ごし方をしていたと聞いています。今回もそれと同じような過ごし方が想定されます。
- 委員 今回 17 時ではなく 15 時にしたというのは何か理由があるのですか。
- 事務局 通常、子供たちが学校にいる時間を想定しています。それ以降であれば家庭でも過ごせるのではないかとということです。

- 委員 分かりました。金曜日に登校日を設定した理由というのは何ですか。
- 事務局 最初に、今週の登校日が10日になりました。今週は、始業式、入学式があり、10日を基準とした場合、その次を設定する際に、あまり期間が空かないように、空き過ぎず詰め過ぎず、週に1日ということを考えると、最初が金曜日でしたので、次も金曜日と設定しました。
- 委員 登校日というのは、結局1週間に1回登校をして何をするのですか。例えば単純に宿題を受け取って宿題を返してというのか。ちょっとしたオリエンテーションみたいな感じのものをするのか、それとも何か特別なことをやるのか。
- 事務局 課題を与えて、その課題の解き方を教師が児童生徒に説明する。翌週に、その課題を点検・指導して、それを踏まえてまた課題を与えるなど、道筋をしっかりとつけていける、課題を用意して与えていく。また、児童生徒の健康チェックをしっかりとやっていくという、そういった学習のチェックと健康面のチェック、両方の目的があります。
- 教育長 それに加えて、委員から意見を頂いたように、家でストレスをためていないか、親と良好に過ごしているかといった、様子も確認したいと考えています。登校していない子供については、綿密に家庭訪問を実施したり、電話をかけたりにながら家庭での過ごし方、課題を与えたことへのチェック、健康状態のチェックなどをしていく。補充で授業をするというだけではなく、そういったことも行いたい。
- 委員 一斉に登校することになりますが、そのときに、やはり密が発生する。その辺りのケアすべきことというのは、何か策はあるのですか。
- 事務局 基本的に全員マスクの着用を行います。教師もマスクを着用ということと、密接を避ける、密集を避ける、密閉を避けるというところを重点的に取り組んでいくということで、特別な策というのはございません。
- 委員 日を分けて登校させるということは、できなかったのですか。
- 事務局 中学校につきましては、登校時間を8時15分、9時15分、10時15分ということで1時間の時間差を設けるようにしております。
- 委員 小学校は一斉に登校をして一斉に帰るということですか。
- 事務局 はい。
- 委員 中学校も登校の時間は時間差をしているけど、1学年が帰ってから次の学年が登校をするわけではないですよ。学校の中では、みんなで一緒にいるわけですよ。登校のときの時間差はあるけど、学校の中では3学年が全員いる時間帯があるわけですよ。
- 事務局 重なる部分はあると思います。
- 委員 学校の中では自由にいますので、時間差登校をする意味はあまりないと思います。
- 委員 来週末ぐらいにもう一度、一週間でしたことを元に検証をして、5月6日ま

で、問題点を見直す、変えるという柔軟な対応というのは考えておられますか。

○事務局 ご指摘いただいた点については、現在のところ考えておりませんでした。今、ご意見を頂戴しましたので、その辺りの検討をしていきたいと思っております。

○委員 私も2週間ぐらいの単位で変化を見ていって臨機応変に対応をしなくてはいけないと思います。今は1カ月と言っていますが、感染も少なくなってきたり鎮静化することがあれば独自の対応をする。子供への感染を防止することも非常に大事ですが、今の時期の子供に対する接し方が大きな意味を持つので、かなりの努力した接し方をしていかなないと、子供に対して、将来に対して心配です。

学校の先生方の接し方というのは学校差が大きいと思っています。ある小学校では筆順など、どんどん個人がやっていこうと思えばできる。できることに對してはある程度まとまった枚数の課題を渡してくれています。逆に何の指導もないような学校もあって、格差があるなと思うので、同一的な、不公平にならないような教育をしてください。教育委員会が指導しなければならないと思いますので、プリントの配付、資料の配付も遅れているところには指摘することも必要かなと思います。

○委員 今度のことで一番のポイントは教師だと思います。教師がこういう状態のときに粹に感じるようなことを、そういう雰囲気づくりを教育委員会としてもできればと思います。小学校と中学校で一律と決められていると、あまり粹に感じることはできないので、今度見直すときには、条件として週1回来てください、来させてください、時間帯はこうです、あとはその学校によって自由な日を決めてください、曜日を決めて、その中で何をするかについて、いろいろ考えることによって、相談することによって、アイデアが出てくると思う。うちはこんなことをしましたという、それをまた市内に情報発信する、そういうことで、いいなと思うことがあると思う。それをどれだけ教師、現場が粹に感じるかということが一番かなと思う。やる気がないわけじゃないので、粹に感じる、この現状で自分たちが子供たちにこんなことをしてあげられる、できたというのを、これからの長い教師歴の中でそれが役に立つときが来ると思うので、この危機を上手に乗り越える。それがまたパワーにつながる。粹に感じてやれるような職場の雰囲気というか、そういう雰囲気づくりみたいなことを何かできたらいいなと思います。そのためには、一律ではなく自由度、裁量度を上げたほうがいいと思います。

○委員 こういう特殊な事情のときに、先生がいかに使命感を持って、乗り切るために頑張ったか、やったことに関しては、後々必ず検証されます。そういうことも含めて、自分自身、人生の中で特殊な時代をどう乗り切ったかというのが、すごい糧にもなります。

子供を預かった以上、命も預かっていますが、子供の教育のことも考えて、色々な案を出してほしいと思います。ただ閉めればいいというわけではない。若干思考過程が、バランス感覚が崩れているように思います。もう1度冷静に、原点に戻って考えてほしいなという気がします。

○教育長 今おっしゃったように、こういう状況の中で感染予防していくということも大事ですけど、私たちは教育に携わる者として、それだけではなく、子供たちが悲しい思いをしないような対応をしていく。感染予防を考えながらも、教育者として子供にどう関わっていくのが大切なのかを考えなくてはなりません。大変ですが、そこを考えないと何のための教師かということになります。

特に校長先生方にはリーダーシップを発揮して、先生方にも伝えながら、校長会等の中でも情報共有し、高砂市全体で向かっていくという姿勢が、最終的には終息したときに問われることだと思います。そこをしっかりと考えていくということが大事だと思います。教育委員会としても、校長先生に指示するだけではなく、一番苦勞しているのは現場だと思いますので、そのことも受け止めながら、教育委員会の立場で市だけでなく、国、県の考えもしっかりと踏まえて対応をしていく。今、ご意見をたくさん頂きましたので、それをしっかりと無駄にしないように、生かすように校長会等とも連携し、やっていきたいと思っております。

ほかに何かないですか。社会教育施設等の施設の閉鎖の部分も出ましたけれども、この辺りは何かご意見ございますか。今は全部閉まってしまっている状況ですけれども、何かご質問とかご意見はありますか。

○委員 学校・園の、体育館は屋内だから問題があるけど、運動場の開放に関しては、もう少し積極的にやってもいいのではないかと思います。小学校の子供たち、あるいは中学校の子供たちに対して、ある程度の時間帯はよほどの過激なことではない限り運動場を利用させてあげたほうがいいのではと思います。運動場を全部閉めてしまうという形があったのなら、開放することを検討してほしいなと思います。

○教育長 休憩中に一般の社会教育施設について、休館になっている状況についてのご意見を頂きました。繰り返しご意見を頂いたところは、やはり教育者として一生懸命先生方に頑張っていたきたい、先生方が頑張ることが子供の幸せにつながるということをしかりと理解してやっていただきたい。この状況であってもきっちりと積極的に関わって、対策を講じて、感染予防だけでなく教育の部分のバランスをしかりと保っていただきたいというご意見を頂きました。臨時休業中の子供たちの過ごし方もそうですし、先生方のお仕事ぶりも含めて、学校現場を回り様子を改めて委員の皆様にもお伝えした中で、課題があればまたご意見を頂きます。

○委員 8時半から15時まで子供を預かるという話で、ご家庭で送迎できる人だけとい

うことですが、普段は自分で小学生は帰ってきます。迎えに行かなければいけないとなると、15時に迎えに行くというのは難しいので、例えば家にいる中学生のお兄ちゃん、お姉ちゃんが迎えに行ってもいいのか、どの辺りまで許されるのかということ聞かれる。こういうことは統一されているのですか。

○事務局 3月にもそのようなケースがあり、保護者が行けないということで、ご近所の方が迎えに行くというケースがあったと聞いています。その辺りについては学校に相談をしていただきたいと思います。

○教育長 時間に関しても学校と調整していただきたいと思います。今回も前回に引き続き非常時のときの基本的な考え方についてご意見をいただきましたし、細かい部分についても貴重なご意見を頂きました。これをまとめて学校と連携をしながら対応していきたいと思います。

令和2年4月9日 午後4時05分 教育長会議の閉会を宣告
